

利根（北）圏域における医療・介護連携に関する意見交換会について

地域包括ケア病床等については、今後必要性が高まる一方、地域によって介護老人保健施設等との関係性や必要とされる機能は異なる。そこで、地域包括ケアシステム構築に向けて、現状や連携状況等を確認・共有した上で、病床整備を進める必要がある。第7次計画公募により、羽生総合病院（羽生市）の地域包括ケア病床、回復期リハ病床の増床が認められたことから、関係者で意見交換会を実施した。

【開催概要】

- 日時：令和3年2月12日（金）（資料送付日）
- 形式：新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から書面による開催
- 参加者：加須市、羽生市の関係機関
 医師会（3機関）、病院（6機関、加須市へ移転予定の病院、新たに病床を整備する病院含む）、介護医療院（1施設）、介護老人保健施設（5施設）、特別養護老人ホーム（14施設）、在宅拠点（1機関）、市（4課所）、消防（2機関）、加須保健所 計：37機関
- 内容
 - 病院整備計画の概要、各市における地域包括ケアシステム構築に向けた課題等について説明後、事前アンケートをもとに意見交換を実施。
 - 主な意見
 - <病院から>
 - ・ 医療機関それぞれの特色を発揮して、機能分担をし、住民のニーズに応えていくことが重要。
 - ・ 独居や高齢者等の患者さんについては、入所先の選定に苦労すること、施設入所までの時間が長期化し、入院が長期化することがある。
 - <介護老人施設等から>
 - ・ 受入先医療機関の選定や施設側からの診察に長時間かかる場合がある。医療機関と施設双方がお互いの立場を理解し合うことで、こうした問題の解決を図ることができると考えられる。
 - ・ 急性期後、ある程度生活復帰支援を行ってから、施設入所させてほしい。
 - ・ 地域包括ケア病床等の増床については、地域貢献に有効なものであるため、施設側としてもより一層、医療機関との連携を図っていきたい。



<新たに地域包括ケア病床等を整備する病院から>

- ・ 病院や施設等からの意見を受け止め、加須市と羽生市の地域包括ケアシステムの運用に積極的に参加し、患者さんの受入や紹介を行っていく。
- ・ 今後も機会を捉えて意見交換を行うなど、医療・介護連携を深めていく。